

災害時の外国人支援って何？ ボランティア入門講座

栃木県には、38,000人以上の外国人が暮らしています。
災害が起こったとき、私たちは外国人住民とどのように助け合いながら
乗り越えていけばいいのでしょうか。
私たちと外国人住民が安心して毎日を送るため、災害時の備えや支援について、
今からできることを学んでみませんか？



- 災害現場での外国人支援事例
 - 過去の災害では、どのような支援活動があったのか
 - どうして外国人支援が必要なのか

講演 &
グループワーク

外国人と
一緒に
考えましょう！

- 私たちにできることは何か？
 - 何をどのように伝えていけばよいか
 - 私たち自身のことに置き換えて考えてみよう



講師 ^{しばがき} 柴垣 ^{ただし} 禎氏 (NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事、富山県職員)

2007年新潟中越沖地震時に外国人支援の活動に従事した経験から、(一財)自治体国際化協会の「災害多言語支援センター設置運営マニュアル」等の作成、また、2011年東日本大震災や2016年熊本地震等で、災害多言語支援センターの情報発信や支援関係者らのコーディネートに携わる。今年の西日本豪雨災害では、外国人の被災状況の現地調査を行う。災害時支援の豊富な経験から、全国各地で災害時の外国人支援の人材育成に努めている。

平成30年 **9月28日** (金)

13時30分～16時30分

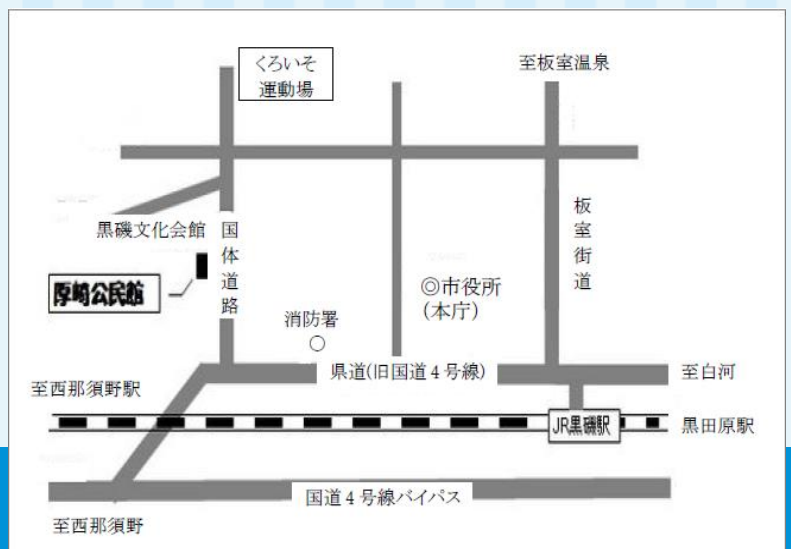
厚崎公民館 (那須塩原市上厚崎500-1)

対象：一般 (日本人、外国人とも)

*災害時の外国人支援に関心のある方など

定員：50名程度

参加費：無料



※JR那須塩原駅またはJR黒磯駅から4km

- お電話またはEメールでお申し込みください -

公益財団法人栃木県国際交流協会

TEL 028-621-0777

Eメール info@tia21.or.jp (「ボランティア入門講座」と明記の上、氏名、住所、電話番号をお送りください)

業務時間 火曜～土曜 8:30～17:15

一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施しています。